

第16回再処理・リサイクル部会 総会 議 事

1. 2008年度活動中間報告と今後の計画
2. 部会運営委員(2008年9月現在)
3. サイクル技術検討ワーキンググループ
4. 国際ワークショップの概要(10/19-22, 神戸)
5. 第6回再処理・リサイクル部会セミナー
6. 2008年秋の大会部会企画セッション

1. 2008年度活動中間報告と今後の計画

- | | |
|----------------|----------------------------|
| (1) 4月15日 | 第7回サイクル技術検討WG・・・再処理プロセス |
| (2) 4月16日 | 運営委員会・・・今年度計画 |
| (3) 5月27日 | 第8回サイクル技術検討WG・・・保障措置、計量管理 |
| (4) 6月 3日 | 運営委員会・・・国際WS準備 |
| (5) 6月26日 | 第9回サイクル技術検討WG・・・FBR燃料、遠心抽出 |
| (6) 8月 7日 | 運営委員会・・・国際WS準備 |
| (7) 8月18日 | 第10回サイクル技術検討WG・・・移行期、TRP |
| (8) 9月 6日 | 運営委員会、部会総会、企画セッション(高知工大) |
| (9) 9月26日 | 運営委員会・・・国際WS準備 |
| (10) 10月19～22日 | アジアの原子力展望に関する国際WS(神戸) |
| (11) 11月～ | サイクル技術検討WG(1回/1～2月開催) |
| (12) 11月～ | 運営委員会・・・セミナー準備 |
| (13) 11月 | 部会表彰募集 |
| (14) 1月 | 運営委員改選候補募集 |
| (15) 1月27or28日 | 第6回再処理リサイクルセミナー(東大) |
| (16) 3月24日 | 運営委員会、部会総会・表彰、企画セッション(東工大) |
| (17) 時期未定 | 第3回ぎんぎん技術セミナー(箱根) |

2. 部会運営委員(2008年9月現在)

部会長:	田中 知	(東大)	
副部会長:	井上 正	(電中研)	分担
運営委員:	浅沼 徳子	(東海大)	会計
	天野 治	(電中研)	幹事
	有田 裕二	(名大)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	稲垣 八穂広	(九大)	企画(国際WS、ぎんぎんセミナー)
	大場 一鋭	(三菱マテリアル) .	企画(部会セミナー、国際WS)
	小泉 務	(原子力機構) . .	企画(ぎんぎんセミナー、部会セミナー、部会HP)
	小山 真一	(原子力機構) . .	広報(ぎんぎんセミナー、部会セミナー)
	佐藤 修彰	(東北大)	広報(国際WS、学会企画セッション)
	鈴木 達也	(東工大)	企画(学会企画セッション、ぎんぎんセミナー)
	徳森 律朗	(東電)	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	中村 裕行	(日本原燃)	広報(六ヶ所情報、国際WS)
	西村 友宏	(電中研)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	日山 伸行	(原燃工)	広報(部会セミナー、国際WS)
	深澤 哲生	(日立)	庶務
	松村 達郎	(原子力機構) . .	庶務
	向原 進	(日本原燃)	企画(部会セミナー、国際WS)
	森 行秀	(三菱重工)	会計監査
	山田 和矢	(東芝)	広報(学会企画セッション、国際WS)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会/東電)、近藤駿介(原子力委員長)

参与: 野村茂雄、土尻滋、小山智造、峯尾英章、駒義和、藤田雄二、森田泰治(以上原子力機構)、
鈴木一弘、鈴木一雄(以上東電)、藤田玲子(東芝)、池田泰久(東工大)、松本史朗(埼玉大)、
田辺哲朗(九大)、山名元、白井理(以上京大)、山村力(東北大)、波多野守(エネ総研)、
倉重有幸(原燃工)、半沢正利(三菱マテリアル)

3. サイクル技術検討WGの今年度開催実績

1. 第7回WG (4/15, 東大, 出席18名)

- ・「再処理プロセス技術の調査について」 電中研 塚田毅志氏
- ・「MAリサイクル・システム検討の論点について」 JAEA 小川徹氏

2. 第8回WG (5/27, 東大, 出席14名)

- ・「六ヶ所再処理工場における保障措置について」 JNFL 藤巻和範氏

3. 第9回WG (6/26, 東大, 出席17名)

- ・「FBR燃料の照射後試験結果について」 JAEA 前田宏治氏
- ・「遠心抽出器開発の概要」 JAEA 鷲谷忠博氏、荻野英樹氏

4. 第10回WG (8/18, 電中研, 出席25名)

- ・「L-F移行期のサイクル技術内容について」 JAEA 山本徳洋氏
- ・「東海再処理施設の概要」 JAEA 田中和彦氏、中島節男氏

4 . アジアの原子力展望に関する国際WS

「アジアでの原子力発電拡大のインパクトを考える」

日時: 2008年10月19日(日) ~ 22日(水)

場所: ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター

主催: 日本原子力学会、同再処理・リサイクル部会

共催: 米国原子力学会FCWMD、欧州原子力学会、中国原子力学会、インド原子力学会、
韓国原子力学会、フランス原子力学会

協賛: 関西電力

開催趣旨

経済発展を続けるアジア(世界の人口の1/4を占める中国、1/5を占めるインド等)のエネルギー需要の拡大率は高く、アジアの需要拡大の世界へのインパクトは大きい。石油、天然ガスの価格の高騰など、エネルギーや特に発電用エネルギーを取り巻く環境は激変している。中国、インド等の原子力発電拡大について、そこに内在する課題をリストアップし、学会ベースで議論を深める。例えば使用済み燃料の急激な増加、ウラン価格の高騰、再処理や高レベル廃棄物処分の国民の受容、核不拡散の技術的、政治的課題、コア及び周辺技術の成熟度、優秀な人材の育成、訓練の場所などが想定される。この会議から議論が始まり、GLOBAL2009で検討が更に深まる展開を望む。

○ プログラム

10月19日(日)

18:00-19:30 歓迎会

10月20日(月)

9:30-10:00 オープニングセッション

10:00-11:10 基調講演 Dr. M. Goff (INL)

11:10-12:00 ポスターセッション

13:00-17:30 プレナリー アジア及び欧米における原子力の展望

18:30-20:30 懇親会

10月21日(火)

9:00-11:45 パネル討論 使用済燃料対応への取組状況と問題点、解決策など

11:45-13:00 ポスターセッション(10/20の続き)

13:00-17:30 オーラルセッション 原子力ルネッサンス拡大の技術開発

17:30-18:00 クロージングセッション ポスター賞表彰など

10月22日(水) 参加国間 運営委員会

○ 参加費等

参加費: (運営費、CDR、歓迎会、懇親会費を含む。当日会場で受付)

会員25,000円、非会員30,000円、シニア会員15,000円、学生 無料(懇親会費は5,000円)

宿泊: 各自で手配

参加登録・問合せ先: 森 行秀(三菱重工)yukihide_mori@mhi.co.jp

参加登録締切: 9月19日(金)

5 . 第 6 回再処理・リサイクル部会セミナー（案）

（平成21年1月27日 or 28日、東大・山上会館）

○テーマ 「日本の燃料サイクルを取り巻く課題と対策の方向性」

○プログラム

1 . 開会挨拶

田中 知（部会長）

2 . 基調講演 「原子力のサイエンス、テクノロジー、フィロソフィー」

藤家 洋一（前原子力委員長）

3 . 特別講演 「キセル原子力屋、後期高齢者の伝言」

竹内 哲夫（元JNFL社長）

4 . ポスターセッション

5 . 講演

（1）次世代のための人材育成と確保方策

MEXT、原産協会（選定中）

（2）品質管理と検査と民間基準

森 信昭氏（交渉中）

6 . パネルディスカッション「廃棄物問題を社会が容認するには」

座長他

大学 国 マスコミ 民間広報（選定中）

7 . ポスター賞表彰

8 . 閉会挨拶

井上 正（副部会長）

9 . 懇親会

6. 2008年秋の大会部会企画セッション[一般公開]

「再処理・リサイクル技術の検討(ワーキンググループの活動から)」

(9月6日(土) 13:00 ~ 14:30、P会場) 座長(東大) 田中 知

- | | |
|------------------------------|-------------|
| (1) 燃料サイクル技術検討状況 | (電中研) 井上 正 |
| (2) FaCTにおける要素技術開発と課題 | (JAEA) 中村博文 |
| (3) 再処理プロセス技術の調査について | (電中研) 塚田毅志 |
| (4) 軽水炉サイクルから高速炉サイクルへの移行期の検討 | (JAEA) 山本徳洋 |